

# 3 年生模擬投票 掲載記事

## 本番に向け「一票」

夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるのを前に、大垣市南若森町の大垣工業高の3年生290人が19日、同校で模擬選挙を体験した。

生徒からは「役に立った」「本番に向け、いい経験になった」などと評価する声が聞かれた。

(吉本章紀)

### 大垣工業高

選挙権 @18歳  
昨年七月の公職選挙法改正を受けて、同校が主権者教育の一環として実施。増田俊彦校長は「今の政治で大きく変わるの皆さんの将来。それを考えて投票行動できるよう、今勉強してほしい」と呼び掛けた。大垣市選管などが協



# 本番に向け「一票」

## 記載台と投票箱 本物、使い体験

投票箱に一票を投じる生徒ら。大垣市南若森町の大垣工業高で。力し、実際に使用する投票記載台と投票箱を設置。生徒らは市選管の職員から投票の流れや無効投票の説明を受けた。模擬選挙の題材は米大統領選で、クリントン氏、サンダース氏、トランプ氏、クルーズ氏の四候補から選ぶ仕組み。生徒らは実際の選挙と同じように受付を済ませ、記載台で投票用紙に候補者名を書いて投票箱に入れていた。投票を終えた荒谷勇吾さん(も)は「緊張した。選挙を考えたことがなかったので役に立った」と振り返った。会場では、同校の生徒らが受付や立会人、開票作業を手伝った。立会人を体験した小林義孝さん(も)は夏の参院選で選挙権を持つといい、「今回、選挙に

投票箱に一票を投じる生徒ら。大垣市南若森町の大垣工業高で。

より関わることで、本番では冷静に投票ができそう。いい経験になった」と語った。

模擬選挙の結果はクリントン氏が百七十一票、サンダース氏が六十二票、トランプ氏が三十五票、クルーズ氏が十八票で無効投票が三票あり、クリントン氏の勝利に終わった。